

「父の永遠の計画」

マタイ2：1～8

■ 私たちの存在と日本の教育がもたらしたもの

まずはじめに、神様はなぜ人を造り、なぜあなたをここに存在させられたのでしょうか？この日本は高度成長期、皆が誰よりもよくなりましたと努力してきました。結果素晴らしい発展を遂げましたがそんな時代から次第に落ちこぼれる人たちがでてくるようになりました。そしてそのような人たちのために日本の教育は皆に同じ教育を受けさせる詰め込みの方法をとるようになりました。神様が私たちを一人ひとり達のように造られたにもかかわらず、日本の教育は皆同じように学ばせ、結果多くの人々を記憶は使うけれど自分で考えることのできない大人、指示がないとできないマニュアル人間にさせました。それは私たちが生きていくなかで先が見えず目の前の出来事にしか対処できないようになったということです。これは恐ろしいことです。では私たちはいつどこに目を置いて生きていけばよいのでしょうか。そんな私たちのため、先が見えなくなった世のとしびとしてイエス様は来られました。クリスマスのろうそくの明かりのように自らを燃やし人々に道を示すために来られたのです。今日はそんなイエス様のお生まれになった時を東方の博士たちが出てくる場面から、これから私たちが向かうべきところ、私たちに示されている神様の計画をみていきましょう。

■ イエス様の誕生とあなたへの計画

今日はアドベント第1週です。一年で一番闇が長くなるこのとき、私たちはイエス様の誕生を4週かけて待ち望みます。イエス様がお生まれになった時、東方の博士らは星の出現によってユダヤ人の王としてお生まれになった方はどこにいるかと、国民の王であるヘロデ王のところに会いに行きます。その頃ユダヤ人は何千年の間キリストの誕生を待ち望んでいました。しかしその話を聞いたヘロデ王は恐れ惑いました。彼は頭の良い王様でしたが過去の知識から自分並びに子孫の地位が脅かされると思ったのです。そして彼はイエス様を亡き者にしようと企めます。彼は先を見通すからである知恵でなく、過去の経験から得た知識によって行動したのです。神様は私たちが古い知識の心とを与え、信仰と知恵を与えてくださいます。私たちが折ったときに心の中に訪れるもの、先を見てこうするためにはどう行動するかというのが知恵で、私たちは知識と知恵と両方をもっていなければならないと判断ができません。もし知識だけしかもっていないなら、自分の価値観で物事を判断してしまうからです。ヘロデ王はこの過去の知識しかもっていないから、イエス様の誕生を恐れ、自分や子孫の保身のため多くの子を殺しました。そしてこのようなことは日本でも昔の時代に起こりました。また世界でこのようなことは繰り返されています。私たちはこのような過去の出来事をみてこのような考えはいけないことを知っています。しかし、そのことを知恵によってもうしなないと決断することがなかなかできません。それは私たちが嫌な人に対して、実際には殺さないけど心の中できなくないのと同じで、私たちに神様は永遠の計画を立てられています。それはあなたが生まれる何代も前から始まっており、後の代まで計画されています。その計画は災いや苦しみではなく将来と希望を与える良い計画です。もしあなたが良くなりたいのなら実行しましょう。確かに私たちがイエス様を信じたなら、その人にどんな過去があろうと赦され救われます。しかし救われることはこの地にあって神様の計画に従い神様の求める姿に変えられることは別のことで、救われた後どう生きるかが肝心です。神様が私たちに願うことは、それは親が子に求めることは大きくなって人様に迷惑をかけないことや裕福になることではなく、健康であって幸せであること、思いやりがあって人格的で困ったときに支えられ願ったときに応えてくれる人がいる子に育てて欲しいのと同じです。それは自己中心ではなれないものであり、マニュアルのないものです。だからこそ、その時々の時に考えて正しい行動を導き出さなければいけません。それが幸せへの道です。しかし私たちはそう思ったことを考えることができなくなり、焦って目先のことばかりをみてしまうようになりしました。ヘロデ王もイエス様の誕生に焦ってしまい目先のことだけに目を向けてしまいました。しかし私たちが本当に見なければいけないのは目の前のことではなく先のことです。そのためには焦らないことが大切です。今だけを見て争いをする時代を繰り返すのはもう止めて、将来あなたが関わる人たちにどう生きるかを考えていきましょう。

■ 「東」に隠された意味

また、今回なぜ神様は東方の博士たちを選んだのかということについて触れていきます。東といえば日の昇る場所といわれますが、この東には新しいとか留まらず進むという意味があります。聖書でほかに東というところとエバが楽園から追放された場所（エデンの東）があります。アダムとエバは悪魔に騙され神様から食べてはいけないといわれた木の実を食べたことで、身体は死にませんでしたが人と神様との関係が死にました。そしてその子どもであるカインは嫉妬から弟アベルを殺してしまいました。そこで私たちは原罪をもち、自分よりも他者が評価されると憎しみ、正義という名のもとに人を殺す自己中心や自己義をもつようになりました。しかし神様はそこから抜け出し新しい歩みをするように言われたのです。今回ヘロデ王は過去の知識によって誤った道を選択してしまいました。このことは伝 1:4-10 によって全ての価値観は過去から出てくるということにも関連しています。私たちは過去の経験、知識に縛られてしまひますし、問題が起きると男性は逃げなくなり女性は相手のせいにしたくなります。しかし頭ではそんな自分を愛したいと願っ

ており、そんな私たちの汚い心に光を灯すためイエス様が来られました。そして私たちに新しい価値観を与え、神様は素晴らしい計画を用意してくださっています。東方の博士たちがユダヤ人の王に会いに放浪の道を歩む中、星に導かれて留まることなく進み続けついに真実の光を見つけたように、私たちもひとつとところ、自分の価値観に留まることなく、新しい神様の価値観に導かれましょう。

■ 近視眼になるな！！

私たちが自分の価値観で生きること、自分が今見えているものを経験したことが全てであるように生きることです。しかしそれでは分かってはいるつもりで全然分かっていないということがたくさんあります。人から良いといわれたことも話半分に聞いて自分の価値観で進めてしまいうことがないでしょうか。もしあなたが幸せになりたいというのなら今までの生き方でなく新しいことをしなければいけません。私たちは過去からくる自分の価値観に対しこのままではいけないと立ち上がる人になりましょう。その源はイエス様です。人が罪を犯し続けたため目には目をという律法が生まれましたが、それでも人は変わることなく罪を犯し続けました。そのような中、イエス様は右のほほを打たれたなら左のほほを差し出すという行動をとりました。これは律法になく、今でも誰も思ったことのない全く新しい選択でした。私たちがこれを実行することはとても難しいことですが、神様はこのように新しい道を選び人格的成長をとげることを望んでおられます。これは神様が強制でさせようとしているのではなく、そうできるように努力しなさいといわれていることです。もし今、あなたが自分の価値観で生きていくことに気付いたならば、ここから新しい本当のあなたの姿に変えられましょう。

■ 信仰から愛へ成長！！

私たちは神様を信じたことで救いを得ましたが、先のとおり救われた私たちに神様はあらゆる努力をし、人格的成長を遂げるように言われています。それはこの世において隣人に幸せを流し、自分自身も幸せである練習をしているともいえます。そのために必要なことが信じる心から愛まで成長していくことです。あなたは隣人を信じているができていますか？人は相手から信じられると裏切つてはいけません。私もそうです。それでも裏切ってしまうこともあります。もし裏切られても私たちに信じる心があるならば、もう一度信じようと思えます。ですからまず信じることからスタートしましょう。そして許せないと思うことを徳によって何度でも許しましょう。また、知識によって今まで人がどんな失敗をしたのかを知り、自らが正しいことを行いましょ。これは人まねではできません。なぜなら時代が繰り返されるのは、許せないようなことを許し、過去の知識によって学び新しい生き方ができないからです。ですから私たちが過去のことを知り間違いがあつたならそれを止める、自分は誤った道を選ばないと決断、自制しましょう。そして相手が変わるまで忍耐して徳を現し続け、人を裁く立場にない私たちは敬虔、自分の義によって人を裁くのではなく、神様の義により自分や相手の弱さを知りへりくだって生きるのです。私たちは隣人のために神様からいただいた愛を流す存在です。親兄弟を想い、愛に帰っていきましょ。こうして、信じることから自然に愛へとつながっていきましょ。

■ 目を開いて星を見よ！！

もし今まで自分の価値観で生きてきて、その生き方が良い方向へ進んでいないなら、新しい道を見出していかなければいけません。なぜなら過去を見ず、知識も持たずひたすら自分の価値観で生き続けるなら、あなたの道は真つ暗闇で多くの人を傷つける道となるからです。それではダメだと思ふなら、あなたが光を失ひ歩く道がわからなくなったところから、もう一度星を見て正しい道に直らなければいけません。一年のうち一番夜が長く星を目を向けられる時、そして多くの人が救いを求めてくる時、そんなクリスマスの時に私たちはもう一度、何のために自分が存在するのかを受け取りましょ。私たちは自分の価値観が違ふことに気付くために教会へ来て神様の御前に出ます。そこで大事なことはあなたと神様との関係です。これから道を外し続けるかもしれない。しかし星を見出すなら、外れた道から正しい道へと戻ることができます。ですからこのクリスマス、神様があなたに「こう生きよ」といわれた道を探し求めましょ。

新しい生き方へ

私たちは過去にたくさんの失敗をしてきましたが、私たちはその過去の記憶を自分の保身のために人のせいにして置き換えてしまひます。そんな私たちの誤った心を神様は正しい道に戻らせようとしてくださっています。それは今までにない全く新しい方法で、神様の方法でなければ私たちは幸せになりません。イエス様は自分勝手に生きる私たちのためにお生まれになりました。私たちが新しい生き方を見出し幸せになるために、私たちの罪咎のために喜んで十字架の道を進まれたのです。ですからその思いに応え、私たちは神様の思いを継承し新しい道を選び歩いていきましょ。